



2025-26年度 第2650地区スローガン

「未来へつなぐ」

|          |       |
|----------|-------|
| 会長       | 山田 博  |
| 副会長      | 安田 志郎 |
| 幹事       | 木原 常裕 |
| 会報・資料委員長 | 酒本 良司 |

第2650地区 [1961.3.28創立]

## YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス [ytrotary@abelia.ocn.ne.jp](mailto:ytrotary@abelia.ocn.ne.jp)地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール

事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

### 第10回(通算3050回)2025年(令和7年)9月16日号

#### 本日の例会(9月16日)

「こども食堂の現状」  
 大和高田市おひさん食堂 吉村眞由美様  
 香芝市おひさま食堂 吉村典恵様  
 香芝市なごみ食堂 高橋 進様

#### 次回の例会(9月28日)

移動例会 IM第5組参加

ホスト：樋原RC

#### 9月9日の例会報告

#### 会長の時間

阪神タイガースが優勝したみたいです。私は巨人ファンですから、あまりうれしくはないんですけども、おめでとうございます。

先週、広陵地区情報集会を開いていただきまして、本当にありがとうございました。今週の新庄地区情報集会もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、今日は新庄地区と高田地区との深い関係についてお話しします。関ヶ原の戦いの後、和歌山から桑山一晴が新庄地区に転封されまして、葛城市新庄地区の屋敷山に陣所を構えました。その東に武家屋敷を造られたということです。政治の中心は新庄地区でしたが、藩内の経済については高田地区となりました。その理由は、古くから街道が通っており、堺から八木へと抜ける交通の要衝であったからです。実際、高田村の本郷地区には土豪が住んでおり、約70件の屋敷があったことが地図で明らかになっております。その土豪に命じて、高田を発展させたということです。また、本郷の西にその後、門徒衆の専立寺を誘致して寺内町を形成しました。そして、町屋に商人を集めて、経済的に保護していました。それが今日の経済都市大和高田の発展につながりました。私はあまり知らなかったのですが、葛城市歴史博物館の本を読みまして、新庄と高田の関係の深さを知ることができました。

#### 幹事報告

◎第3回クラブアッセンブリーのご案内(予定)を配付しております。

#### ○休会のお知らせ

9月23日(火)は休会です。

9月30日(火)は9月28日(日)のIMに振替です。

◎大和高田RCが過去に設置した看板について、

情報のご提供をお願いしております。例会場の掲示板にも記入できますし、事務局では地図のご用意もしております。ご協力の程お願いいたします。

◎9月16日(火)例会終了後に理事会を行いますので、関係の方々はご出席をお願いいたします。

#### ゲスト

竹岡遼弥様(大和高田RAC会長)

松村實恵様(大和高田RAC幹事)

桂 吉坊様(落語家 卓話講師)

#### 誕生日祝

射場祥行会員(9月12日)

#### 結婚記念日祝

中川和久会員(9月 9日) 伊森隆敏会員(9月 9日)

#### 創業記念日祝

中井隆男会員(9月12日) 中井俊之会員(9月12日)

#### RL修了証

辻 修会員 藤井宏典会員 村島靖基会員

#### 委員会報告及びその他報告

○ローターアクト委員会 川中教正委員長  
 ローターアクトクラブの竹岡会長と松村幹事が就任の挨拶に来られています。今月また1人増強の予定がございます。それがかなえば8人となり、30周年に向けて頑張って活動してまいりますので、皆様よろしくお願ひいたします。

竹岡遼弥大和高田RAC会長

今年度、大和高田RACは30周年を迎えました。30周年事業のほうもしっかりと進んでおります。今年度の周年事業として、11月30日にJR大和高田駅のロータリーでマルシェを開催いたします。こちらの事業の目的は、当クラブでも支援されております、フードバンク大和高田の周知と支援を目的としたものです。引き続き、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

#### ○新庄地区情報集会

吉田 晓世話人

本日18時から辻甚にて新庄地区情報集会を行います。

#### ○職業奉仕委員会

村井善治委員長

次週例会時にフードバンクの募金箱をお持ちいたしますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

#### ニコニコ箱

・桂吉坊様をお迎えして。広陵地区情報集会ありがとうございました。

山田 博会員

・広陵地区情報集会では、お世話になりました。桂吉坊さんをお迎えして。

木原常裕会員

・桂吉坊さんをお迎えして。

中井隆男会員

#### 4つのテスト【言行はこれに照らしてから】

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

・桂吉坊師匠、おもしろい話、よろしくおたの申します。  
清水良彦会員

・阪神タイガースのリーグ優勝を祝して。

桝岡 進会員

・南都華香会展、前回例会休んで當麻寺中之坊松村住職のお人柄が出ている書、見せていただきました。

竹村惠史会員

・広陵地区情報集会でお世話になりました。

竹村惠史会員

・20年在籍のお祝いを頂きありがとうございました。25年に向けて頑張ります。

高木美香会員

・誕生日祝を頂いて。

山本忠行会員

・垣本様、9月16日還暦のお誕生日おめでとうございます。ますますお元気でいらっしゃること、祈念しております。

丸野正徳会員

・結婚記念日祝を頂いて。

伊森隆敏会員

## 卓話 「おもしろい話」 落語家 桂 吉坊 様

私は米長一門の噺家でございます。桂米長は、今年で亡くなりましてもう10年でございましてね。生誕100年もあります。90で亡くなるまで本当に元気な師匠でいらっしゃいました。私が入門しましたのがちょうど喜寿の頃、77前後でございました。直弟子はもうお取りではございませんでしたが、孫弟子の私は内弟子として住み込みで修行をさせていただいたわけです。昨今、住宅事情もあって住み込みは減る中、米長ぐらいの人になりますと、人間国宝でございますから、ほぼ同じ年の奥様とお二人では仕事をとてもこなせないということで、若い衆が住み込んでおったんでございます。

もう一つの事情というのがございましてね。うちの師匠の吉朝の家が尼崎市南武庫之荘にございますマンションだったんですね。こちらに弟子が住み込むとなりますと、師匠は家を出ないといけないという、こういう住宅事情がございましてね。飼い猫は残してもらえるということだそうでございまして、これだけでうちの師匠の家の中の順位が分かるというようなもんでございます。

まあまあそういうようなこともございまして、米長のところで勉強させていただきまして。3年間ずっと国宝のそばにいてたんでございますね。住み込みをしている間は、稽古をつけてもらいました。物を教わるにも上手い下手がございます。我々噺家の稽古というのは、一番初めは三遍稽古という稽古がございましてね。まずは、うちの師匠の吉朝が3回まずいくんですね。短いところを3回。言うたら、オウム返し。「はい、言ってみ」。目の前で覚えてやるんですね。それで、それを覚えたら、次のところをまた3回、また3回とやるんでございます。

これを聞いていますと、噺家というのは非常に物覚えのいい商売に聞こえるんでございますが、物を覚えようと思ったら、大体覚えないものなんでございますね。どういうわけでございましょうか、3回で覚えた試しがございません。大体、落語の始まりとい

るのは、多いのがね、「こんにちは」「おう誰やと思ったらおまえさんかいな。まあまあこっち上がり」「へいへい上がりしてもらいます」「よっこいょっと」なんてことを言うんですね。

ところが、自分があこがれて入った師匠でござりますからね、やっぱりその師匠が目の前でしゃべってくれるというのは、うれしいもんでございますからね。「うわっ、師匠がしゃべってくれてる」と思ったら、もう3回終わっているんでございますね。すると、初めの言葉、「こんにちは」を忘れるんでございます。「やつてみい」「えー、えっ、師匠、初め何でした」「もう。『こんにちは』や」「あのう、次は」「ああっ。『こっち入りいや』」。こんな調子でございますから、3遍どころではございません。5遍、10遍となってきます。師匠の眉間に辺りにいなずまが走っておりました。

米長師匠は、三遍稽古のような細かい稽古はつけてくださらない。もうこっちが「覚えました。師匠、見てください」「ほな、よっしゃ、見たらう」、一席見てもらう、そういう稽古でございます。米長師匠というのはやっぱりすごいですね。何十人も弟子がいますから、今日うちに来た弟子が、今日はただの挨拶か、稽古に来よったかというのを勘づかはるんでございますね。弟子に「稽古をつけてください」と言われると、物すごく嫌な顔をするんでございますね。師匠がよくやっている一文笛というネタがあった。これを教えていただきこうと思いましたら、師匠が「あのな、吉坊、おまはん、一文笛という落語は知ってるやろ」「いや、そら知ってます」「あのな、わしの一文笛は聞いてるやろうさかい、もう覚えてたらやつたらええ」「いや、そういうわけにはいきません」という感じでした。

ようようお稽古をしていただきまして、終わるかなというタイミングからぼちぼちお酒の準備が始まるんでございますね。このお酒というのが長うございましたですね。この間に聞くお話というのがありがたい。いわば稽古代わりというようなもんでございましたけれどもね。

米長師匠はお酒はその喜寿のころでもよくお飲みになりますね。必ず呼び出しがあるんでございます。おうちが武庫之荘という駅の近くでございましたから、電車でみんなやってくるわけでございます。飲んでおりますうちに、どんどん終電の時間が近づいてくるわけでございますね。もうそうすると、弟子がそわそわしてまいります。すると、米長師匠はまたつぐんでございますね。もう永遠に終わらない。さあそうなりますと、次の手でございます。帰らさないというのでございますね。「あのな、タクシーのチケットを出してやるさかいな、もう一杯飲んでいたらどうや」と、こう言う。夜中の1時、2時頃でございましょうか。草木も眠る丑三つ時というやつでございますよ。まだ武庫之荘では宴会が続いておるわけでございますね。そうしますと、米長師匠がさっきまで「チケットあるからな」と言っていたのが、夜中の2時になると、「もう車も来えへん」。どういう脅迫やねんと。そういう状況になるわけです。まあしかし、そうやって飲ませていただいた、これも一つの財産でございましたけれどもね。

(落語一席)

| 出席報告  | 会員<br>総数 | 出席<br>義務<br>会員数 | 義務<br>会員<br>出席数 | 義務<br>会員<br>欠席数 | 義務<br>会員<br>MU | 出席<br>免除<br>会員数 | 免除<br>会員<br>出席数 | 免除<br>会員<br>MU | 出席率    |
|-------|----------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|-----------------|----------------|--------|
| 9月9日  | 88       | 55              | 50              | 5               | 2              | 33              | 26              | 0              | 96.29% |
| 9月2日  | 88       | 55              | 47              | 8               | 0              | 33              | 21              | 0              | 89.47% |
| 8月26日 | 88       | 55              | 49              | 6               | 1              | 33              | 26              | 0              | 93.83% |

※食品ロスの削減に努めましょう。(9月2日の弁当残数は5個)